

おもしろいおとうさん

埼玉県 小川町立大河小学校一年

金子 美星

わたしのおとうさんは、げんばかんとくのおしごとをしています。あさは、いつもねむいみたいで、ねほけています。げんばにいくまえも、わすれものがおおくて、へやじゅうさがしまわっています。

げんばにいつてからは、うちあわせをしたり、じゅうきなのつたりしています。でもなぜか、ヘルメットは、ななめにかぶっています。げんばではほかに、しゃしんをとったりしています。いえにかえつてくると、そのしゃしんをみせてくれます。でも、はなしにむちゅうになり、ときどきしゃしんをなくすこともあり、かぞくでさがすことがあります。わすれものがおおくて、そそっかしいおとうさんだけど、わたしや、おとうとと、よくあそんでくれます。つりにいったり、こうえんにつれてつてくれます。でも、みちにまよったり、おさいふをわすれたり、おなかがいたくなつて、トイレからなかなかでてこないときもあります。そんなときはいつも「なんでもっとちゃんとしなやかなあ」とおもいます。そんなおとうさんだけど、きよねんの、ひがしにほんだいしんさいで、いでんになつたとき、ヒーターがつかえなくてさむくてな

かなかねむれないわたしたちのために、ずっとあさまでギユツとだっこしてくれました。おとうさんのうでのなかは、とてもあつたかくて、おおきくて、きもちがよくて、わたしも、おとうとも、ぐっすりねむることができました。

いつもおもしろく、しっぱいのおおいおとうさんだけど、わたしたちのことをいつもいちばんにかんがえてくれるんだとおもいました。

わたしのおとうさんは、にほんいちあつたかくて、やさしいおとうさんです。おとうさんいつもありがとう。